

道路行政をめぐる論点・視点(案)

1. 公正・透明で効率の高いプロセスへ

- 無駄の排除(コスト縮減、公正な調達)
- ・談合問題への対応
- ・道路に関わるコスト縮減
- 透明性の確保と信頼性の向上(目標の設定と厳格な評価)
- ・実施すべき事業とその必要性を検証し具体的に公表
- ・明確な目標のもとで工程と事業費を管理

2. 形成してきたストックの適切な管理と徹底的な活用

- 安全・安心な国土を支える防災・減災対策
- ・地震や豪雨・豪雪災害への対応
- 「荒廃する日本」を回避する維持管理
- ・本格的な維持更新時代に対応する道路管理の方針
- 既存ストックの徹底活用と価値の向上
- ・サービス水準に着目したネットワーク階層と道路構造
- ・今ある道路をより安全、より便利で快適に
(交通安全、ITS、使えるハイウェイ、陸・海・空の交通の一体化)
- ・道路空間のリフォーム計画(例:日本橋)

3. 「みち」のもつ多様な機能の復権

- ・交通機能だけではない、多様な道路の役割への着目
- ・地域の活動の場としての道路
- ・公共空間の意義と景観の改善

4. 今後の国土づくり、地域づくり、都市づくりへの対応

- 人口減少時代の交通と道路の役割
- ・今後必要なネットワークと人口減少時代の交通のあり方
- ・道路によって地方コミュニティの維持を図るべきか
- 都市交通の新しい秩序づくり
- ・自動車の抑制と公共交通サービスの活用
- ・通行料金の活用による、よりよい交通の実現(ロードプライシング)
- ・歩行者等が安全・快適に通行できる空間を確保する方策とは
- 経済と環境の両立を図る道路
- ・地球温暖化防止
- ・沿道環境の保全・創造

5. 費用負担と役割分担

- 税と通行料金
- ・将来の国土基盤を確保するための費用負担
- ・道路整備の費用における通行料金と税の意味合い
- 多様な主体の参加と役割分担
- ・補助金を活用したよい地域間競争の促進
- ・サービス水準の階層と管理者階層の関係
- ・幅広い道路ユーザーの参加

上記の項目は基本政策部会における議論内容をグループ分けしたものであり、中間とりまとめの柱立ては、これとは別に議論をお願いします。

道路行政をめぐる主な課題

1. 道路行政に向けられている批判の例

- 道路整備は相当進んでおり、これ以上の新規整備の必要性は薄い
- 地方ではほとんど利用者のない高速道路が作られている
- 人口減少時代に道路を新設する必要はない
- 財政が逼迫している状況下、他の分野に比べて道路整備を急ぐ理由はない
- 談合等のために必要以上に費用がかかっている
- 政治家の利益誘導で予算配分が歪んでいる

2. 道路に対する現在のニーズの例

- 身近な生活道路には未だ多くの課題・・・通学路等の安全性への不安、自転車利用や歩行者のための空間が不足
- 都市の交通体系ができていない・・・渋滞、生活環境の悪化
- 地震、豪雪・豪雨など災害への対応・・・災害時の通行規制、集落の孤立
- 本格的な維持更新時代への対応・・・構造物の老朽化、安全性への不安
- 道路交通による地球環境への影響
- 有料道路の料金が高い
- 標識が分かりにくい
- 道路空間の有効利用・・・美しい景観(電線や広告が景観を阻害)

3. 今後の社会・経済動向

- 少子高齢化・人口減少・・・我が国の人口は2006年をピークに減少
- ライフスタイルの変化・・・「物質的な豊かさ」よりも「心の豊かさ」重視
- 経済におけるアジアの台頭・・・中国のシェア拡大、アジアとの依存関係の高まり
- 地震、豪雪・豪雨など災害に対する関心・・・大規模地震の発生可能性が大きい
- 地球環境問題に対する関心・・・地球温暖化の進行